

京土会 助成金報告書

平成 26 年 9 月 20 日

京都大学 工学研究科 社会基盤工学専攻 修士 2 回

田中優太

私は貴会の助成金を受け、2014 年 9 月 3 日～2014 年 9 月 5 日まで *École Polytechnique Fédérale de Lausanne* (スイス連邦工科大学ローザンヌ校)において開催された *Riverflow2014 International Conference on Fluvial Hydraulics* に、*Long Presentation* の発表者として参加し、開水路乱流の自由水面における流速発散に及ぼす棧粗度の影響について質疑応答含め 20 分間の発表を行った。

今回の参加、発表に際して、母語以外の発表に対してのスライド作りや発表練習に取り組むことで、プレゼンテーション能力を磨くことができ、また英語能力の向上につながったと思う。学会においては英語を母語レベルで話せるものとそうでないものとの間にはプレゼンテーションの質に大きな差があることを感じ、英語能力のさらなる研鑽が必要であると痛感した。初の国際学会への参加であり、多くの課題を得ることができた。特に *Shiono* 教授(英国ラフバラ大学)から河川乱流に関する助言を頂き、非常に有意義な学会となった。

今回、京土会から助成金をいただいたことで国際学会での発表という貴重な経験をすることができた。そのような機会を頂けたことにこの場を借りて感謝を述べたく思う。